

研究テーマ：中山間地域における生涯学習の未来像： 社会教育施設での拠点づくり・学習講座の創出	
研究代表者：生物資源科学部 地域資源開発学科 教授 馬本勉	連絡先：umamoto@pu-hiroshima.ac.jp
共同研究者：なし	
【研究概要】 令和9年度に「府中市生涯学習大学（仮称）」を開設する構想のもと、広島県府中市では、「生涯学び、活躍できる環境の整備」を行っている。本研究はその一環として、多様な世代が集い、充実した学習メニューによって主体的に学び、地域課題へと向かう活動が行われる場を構築する試みである。文献や視察を通じた先進事例の情報収集を図り、府中市教育委員会との協議を重ね、2025年1月には市民参加型の「学び始めたくなる『きっかけ』を考えるワークショップ」の開催が実現し、ニーズの把握を踏まえた講座のモデル提案に至った。	

【研究内容・成果】

広島県府中市における「第二期府中市教育振興基本計画」（R5～R9）に謳われた基本目標の一つが「生涯を通じて共に学び支え合い、地域づくりに生かす学びの向上」である。そのためには、学校教育と接続する形で、公民館等の社会教育施設における世代を超えた学びの充実が重要となる。以下に記した本研究の取り組みは、その具体化へ向けた第一歩である。

先進事例調査（生涯学習センターおよび生涯学習拠点施設等）

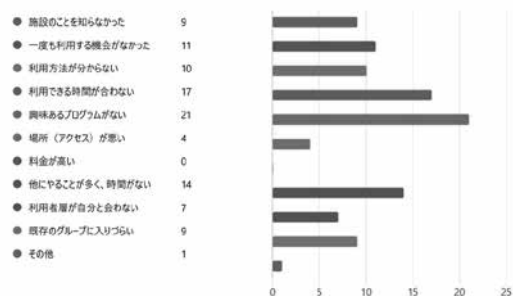
愛媛県新居浜市（2024年9月13～15日）、ならびに東京都足立区（2025年3月13～15日）にて実施。施設見学、講座の参観、関係者からの聞き取り等を行った。両者の共通点として、次の点が充実している点が挙げられる。

- ① 学習者自身が学習を企画したり、リードしたりする仕組み（新居浜：「まなびすと」、足立区：「区民ボランティア」）が整い、積極的な参加がある。
- ② 近隣大学と連携し、専門的な内容を含む講座が開設されている。

市民ニーズの調査

府中市内の公民館利用状況を把握するとともに、利用していない市民の声を聴くアンケートを実施し、ニーズの把握に努めた（2025年1月7日～2月21日）。その結果、「自分の興味に合うプログラムや講座が増える」ことが公民館等生涯学習施設の利用に結びつくとの傾向が示された（62名中37名、最多の約6割が選択。利用していない層に限れば約8割）

6. 公民館や生涯学習施設を利用しない理由を教えてください。（複数回答可）



7. どのような条件が整えば、公民館や生涯学習施設を利用したいと思いますか。（複数回答可）



先進事例調査・ニーズ調査と並行し、府中市教育委員会との協議を重ね、「学びの実施方針」として「市民とともにつくる生涯学習大学」というコンセプトを打ち出し、市民による「学びのメニュー」の提案によりその具体化を試みることとした。

学び始めたくなる「きっかけ」を考えるワークショップ

新居浜市生涯学習センター所長・関 福生氏を府中市に招聘し、「学びの愉しみがまちを育てる：新居浜障害学習大学 33 年の実践から思うこと」と題する講演とともに、氏のコーディネートによる講座づくりワークショップを実施した（広島県生涯学習センターとの共催）。ワークショップでは、講座の対象者、開催スケジュール、内容、講師等の具体案を含む、次の 6 つの講座モデルが提案された。

- A. 「大規模 DIY」（空き家活用）
- B. 「ジェネレーションギャップって何？」（多世代間交流）
- C. 「どうする子育ての後！」（親世代支援）
- D. 「みんなの食堂」（公民館祭り）
- E. 「府中市の特産みそ講座」（食文化）
- F. 「歩いて収穫して愉しもう」（国府と上下の歴史、農業体験）

ワークショップを通じて「府中市の新しい学びを創る上で参考になったか」との問いに対し、回答者 21 名全員から好意的な回答が寄せられた。



【具体化へ向けた課題】

リカレント・マスター

市民提案型の「学びのメニュー」の実現には、学びの創り手（あるいは支援者・提供者）として構想中の「リカレント・マスター（仮称）」の役割が重要である。上記ワークショップの参加者を中心に、世代を超えて人材が養成され、持続可能な仕組みへと成長していくことが望まれる。

大学との連携

本研究のスタートにあたり、「スキラム連携」という教材づくりの視点を紹介し、府中市の有する豊かな学習資源の有機的な連携を提案した。「スキラム」のうち、大学以外はすべて揃う府中市と、県立広島大学が連携することの意義は大きい。例えば上記の「学びのメニュー（講座モデル）」では、大学の研究者が学問の面白さを講師として伝えることにより、府中市の生涯学習活性化を担うリカレント・マスターの養成に一役買い、世代を超えた広がり結びつくことが期待される。

スキラム(SUKILAM)連携

School 学校
University 大学
Kominkan 公民館
Industry 産業
Library 図書館
Archive 保存記録
Museum 博物館

まとめ

府中市の掲げる「生涯を通じた学びの充実」には、人生 100 年時代における学校教育と社会教育との連携や、「地域の教育力向上」を目指した関係者の協働が不可欠である。学び続ける大人の姿を見て、こどもが学び続ける人に育つ。大人もまた、こどもの学ぶ姿を見て学び続ける。この好循環を支える上で、広島県府中市の持つ生涯学習資源（歴史、文化、産業、自然、そして人）は極めて価値が高く、多くの可能性を秘めている。

本研究において、府中市教育委員会の熱意溢れる担当者との協働により、「府中市生涯学習大学（仮称）」の構想が着実に像を結び始めた。この成果の発展・継続を期したい。